

2024 年度 第 23 回 東京音楽大学コンクール
実施要項

審査部門：声楽・ピアノ

Tokyo College of Music Competition

主催：東京音楽大学

後援：目黒区

2024年度 第23回 東京音楽大学コンクール 実施要項

■審査部門 声楽部門・ピアノ部門

■開催日時および会場（公開審査） TCM ホール（中目黒・代官山キャンパス）

ピアノ 部門 予選 2024年 7月 20日（土） 10:00～

本選 2024年 7月 27日（土） 10:00～

声 楽 部門 予選 2024年 11月 7日（木） 12:00～

本選 2024年 11月 19日（火） 13:00～

※両部門とも、参加者数により予選の開始時間を変更する場合があります。

※両部門とも、予選・本選ともにYouTubeにてライブ配信を予定いたします。

■発 表

氏名発表 予選通過者の氏名は、決定次第発表します。本選入賞者の順位は、表彰式で発表します。

■表 彰

予選を通過し、本選に出場した参加者を入選者とし、審査員署名の賞状を贈ります。
本選において第1位、第2位、第3位を得た入賞者には審査員署名の賞状及び下記賞金を贈ります。

賞金 第1位 35万円、 第2位 10万円、 第3位 5万円

■委 員（五十音順・敬称略）

運営委員長 学長 野平 一郎

運営委員会 荒井 英治 石井 克典 石井 理恵 岡田 敦子 神谷 百子 小日向 英俊
志村 文彦 高田 匡隆 武石 みどり 竹澤 恭子 田島 亘祥 伊達 英二
野田 祐介 服部 洋一 原田 敬子 古部 賢一 森 博文 山本 裕康
横山 恵子

■審 査 員（五十音順・敬称略）

審査委員長 学長 野平 一郎

声楽部門 大倉 由紀枝、現田 茂夫、ティツィアーナ・ドゥカーティ、前田 佳世子、松井 和彦

ピアノ部門 江口 文子、岡本 美智子、清水 将仁、田代 慎之介、中野 翔太

■審 査

予 選

①各部門は予選を行い、本選出場者を決めます。

②演奏順はコンクール運営委員会が決めます。

③各部門とも全曲暗譜で演奏してください。

但し、課題曲のなかで特別な指示のあるものは、この限りではありません。

④伴奏者は参加者が用意してください。

⑤審査にあたり、時間の都合などで演奏を途中でカットする場合があります。

本 選

①部門ごとに審査し順位を決定します。表彰は規定による賞を贈ります。

②演奏順は予選通過後に本人のくじびきで決定します。

③各部門とも全曲暗譜で演奏してください。

但し、課題曲のなかで特別な指示のあるものは、この限りではありません。

※本選の審査結果は公表します。

応募の手続きについて

■申込期間

ピアノ部門：2024年5月20日（月）9：30 ～ 6月3日（月）17：00まで

声楽部門：2024年9月10日（火）9：30 ～ 9月24日（火）17：00まで

※ピアノ部門は、申し込み先着35名になり次第受付を終了します。

※声楽部門は、書類不備のない申し込み先着30名を受付します。

※出演順は、申込順とは関係ありません。

■参加者資格

東京音楽大学の学部生、アーティストディプロマ、カレッジディプロマ、大学院生（修士・博士）、
大学院科目等履修生、大学院研究生、附属高校生
（ピアノ伴奏は学外者でも可とする）

■手続および申込先

メール、または、フォームからの申込とします。

・共通事項

受付開始より早い到着のものは無効といたします。不備のないものを優先いたします。

申込後は、下記のメールアドレスを受信できるよう設定をお願いします。（迷惑メール対策）

受領メールを演奏課から送信します。締め切りまでに届かない場合にはお問い合わせください。

申込に関する問い合わせ：演奏課（中目黒・代官山キャンパス） TEL：03-6455-2757

・メールの場合

Vivo 演奏課掲示の申込用紙（Excel）をダウンロードして、必要事項を入力の上、添付して送信してください。

送信先：tcmconcourstokyo-ondai.ac.jp

件名は「コンクール参加申込／部門名／氏名」としてください。

・フォームの場合

Vivo 演奏課掲示の入力フォームから、直接入力してください。

■申込書

①曲目を予選・本選ごとに作曲者名、曲名（作品番号、調性、演奏楽章等を含む）を和欧両文で明確に記入し、所要時間も必ず記入してください。提出後は変更できません。

②実技担当教員承認欄は、事前に承認を得たうえ、教員名を記入してください。

③記入事項に不備があった場合、申込みを受け付けないことや失格となる場合がありますので注意してください。

④声楽部門参加者は伴奏者を申込書に明記してください。やむを得ない事情により伴奏者を変更する場合は、直ちに演奏課へ連絡してください。伴奏者変更の可否はコンクール運営委員会が判断します。

■参加者心得

①予選・本選に関する心得

(イ)参加者はコンクール運営委員会発行の参加証と学生証(生徒証)を持参し、指定の日時に受付を済ませ控室に入り係員の指示に従ってください。遅刻の場合は棄権とみなすことがあります。

(ロ)ピアノ伴奏者と譜めくりは参加者が同伴してください。

(ハ)やむを得ず棄権することが決まった場合は、すみやかに演奏課に連絡してください。

②著作権に関する心得

(イ)著作権法に抵触する場合は失格となります。抵触の内容については運営委員会が判断します。

東京音楽大学コンクール規約

第一章 総則

(名称)

第1条 この名称は、東京音楽大学コンクール（以下「コンクール」という。）と称し、西暦年度と通算回数を冠する。英語名称を Tokyo College of Music Competition と称する。

(主催)

第2条 コンクールは学校法人 東京音楽大学（以下「本学」という。）が主催する。

(目的)

第3条 コンクールは学生の演奏意欲と演奏技術・表現力の向上を目的とし、入賞者を各々の演奏会によって広く世に紹介し、楽壇への登場を促す。

(内容)

第4条 コンクールは、基本的に本学付属高校生と大学院生を含む本学の全学生を対象とし、声楽、ピアノ、弦楽器、管打楽器の4部門の中から、2部門ごと隔年の実施として毎年1回開催する。

(運営委員会)

第5条 コンクールの実施に際して、全ての演奏委員が運営委員となる運営委員会を置く。運営委員長は本学学長とする。運営委員会は、コンクールの運営を効果的に行うための企画・立案をし、演奏委員会で決定し教授会の承認を得る。

(実行委員会)

第6条 前条で定めた運営委員会の中に実行委員会を置く。
実行委員会は、審査運営の遂行、入賞までの運営を行う。
実行委員は、開催部門の運営委員（演奏委員）がこれにあたる。

(事務局)

第7条 コンクール事務局、庶務業務は本学演奏課が担当する。

第二章 参加及び出場

(参加資格)

第8条 コンクールの参加資格は、本学の学部生、アーティストディプロマ、カレッジディプロマ、大学院生（修士・博士）、大学院科目等履修生、大学院研究生、付属高校生とする。
但し、このコンクールで過去に第1位入賞者の参加は認められない。

(申込み方法)

第9条 コンクール参加者は所定の申込書に規定事項を記入し、本学演奏課に申し込まなければならない。
尚、一度提出した曲目の変更は認めない。

(参加承認)

第10条 前条の申込書提出後、実行委員会による参加承認可否を行う。

(参加証の発行)

第11条 申込書により、参加の承認がなされた時点で、事務局より参加証を発行し、参加者に通知する。

(演奏日時の通知)

第12条 演奏日時は申込み締め切り後、参加者に通知する。

(参加者の義務)

第13条 参加者は、実行委員会より指定された日時に、コンクールの会場の所定の場所に参加証を持参し、集合しなければならない。

(演奏順序)

第14条 演奏の順序は、実行委員会で決定する。

(演奏)

第15条 演奏に関するすべての手順は、実行委員会の指示に従う。

(演奏曲目)

第16条 演奏曲目については、運営委員会で別途定める。

(審査)

第17条 審査は運営委員会で定めた審査規定により行う。
(尚、コンクールにおいての録音及び映像に関する著作権は主催者側にある。)

第三章 審査規定

(審査員の構成)

第18条 審査員は原則的に各部門5名とし、審査委員長1名、委員5名より構成される。審査員は学外から招聘する。審査委員長は本学学長とする。
審査員選考は、実行委員会の推薦により、運営委員会（演奏委員会）で決定し教授会の承認を得る。

(審査方法)

第19条 審査の方法は運営委員会で定め、審査は予選・本選の全てについて、同じ審査員にて行われる。但し、やむを得ない場合は、この限りで無い。また、審査員は審査権を破棄することはできない。

第四章 表彰

(表彰)

第20条 表彰については、次の規定による。
審査規定により、予選を通過し、本選に出場した参加者を入賞者とする。
入賞者には審査員署名の賞状を授与する。
本選において第1位、第2位、第3位を得た入賞者には審査員署名の賞状及び下記賞金を授与する。
賞金 第1位 35万円、第2位 10万円、第3位 5万円。

(表彰式)

第21条 本コンクールの最終日に、入賞者の表彰式を行う。

(開催期日及び課題)

第22条 コンクール開催の期日及び課題は、毎年運営委員会の決定によるものとする。

(実施要項)

第23条 コンクールの実施要項は別に定める。

■声楽部門

オペラ（W.A.モーツァルトのコンサートアリア含）、オペレッタ、オラトリオより任意のアリア5曲（原調・原語で演奏し、必ずバロックからW.A.モーツァルトまでの作曲家の作品が含まれること、ミュージカルは除外）、及び、任意の歌曲（全音出版イタリア歌曲集 1～4 巻に記載のオペラアリアについては、歌曲扱いとする）5曲の、計10曲。

その中から、予選は当日、本選は予選通過時に数曲を指定する。

※伴奏はピアノに限ること。

■ピアノ部門

予選課題曲

以下の1、2を合計10分以上12分程度にまとめて演奏する。

1、2の順で演奏すること。（12分を超えた場合はカットする）

1. Haydn、Mozart、Beethovenより任意のソナタ1つを選択し、そのソナタより1つまたは2つの楽章を演奏する。

ただし、5分以上の演奏時間となるよう楽章選択をすること。

2. 以下の作曲家の練習曲から2曲または3曲を選択して演奏する。

ただし、必ずショパンの練習曲を1曲含め、1のすぐ後に演奏すること。

Chopin(op.10 no.3、op.10 no.6、op.25 no.7、新練習曲は除外する)、Liszt、Debussy、Scriabin、Rachmaninoff、Bartók、Stravinsky、Szymanowski(op.4)、Prokofieff、Ligeti、間宮芳生

本選課題曲

以下の1、2、3を、合計38分から45分以内にまとめて演奏する。予選で演奏した曲は除外する。演奏順は自由。

1. J. S. Bach の作品

2. Schubert、Mendelssohn、Chopin、Schumann、Liszt、Brahmsより1人を選びその作品を10分以上演奏する。

3. 残り時間があれば任意の自由曲を演奏する。

注意) 1、2は編曲ものは不可としオリジナル作品を演奏すること。また、1、2、3

いずれも複数曲も可。ただし、ソナタは全楽章演奏すること。変奏曲、組曲等の抜粋は不可。

東京音楽大学コンクール入賞者歴

声楽					ピアノ		
年度	順位	氏名	パート	学年	順位	氏名	学年
2002年度 第1回	第1位	野宮 淳子	ソプラノ	助手	第1位	海瀬 京子	大学1年
	第2位	武田 理佳	ソプラノ	研究生1年	第2位	石井 理恵	大学院2年
	第3位	小川 里美	メゾ・ソプラノ	大学院2年	第3位	該当者なし	
2004年度 第3回	第1位	寺田 功治	バリトン	大学3年	第1位	後上 聡司	大学3年
	第2位	篠崎 加奈子	ソプラノ	大学院1年	第2位	松本 伸章	大学3年
	第3位	吉田 和夏	ソプラノ	大学3年	第3位	大神 香澄	大学院科目等履修生1
2006年度 第5回	第1位	嶋原 奈美	ソプラノ	大学院2年	第1位	原田 絵里香	大学3年
	第2位	鳥海 仁子	ソプラノ	大学院1年	第2位	野崎 玲欧	大学院1年
	第3位	榎本 愛	ソプラノ	大学院1年	第3位	仲田 みずほ	大学3年
2008年度 第7回	第1位	佐藤 優子	ソプラノ	大学院1年	第1位	脇 絢乃	大学院2年
	第2位	藤川 迪子	ソプラノ	大学3年	第2位	市川 真一郎	大学院1年
	第3位	田中 絵里加	ソプラノ	大学院1年	第3位	高橋 ドレミ	大学1年
2010年度 第9回	第1位	吉田 美咲子	ソプラノ	大学院2年	第1位	西 能希	大学院2年
	第2位	鈴木 玲奈	ソプラノ	大学4年	第2位	太田 実花	大学2年
	第3位	大崎 花子	ソプラノ	大学院2年	第3位	山口 真広	大学院2年
2012年度 第11回	第1位	鈴木 玲奈	ソプラノ	大学院2年	第1位	朝倉 すみれ	大学3年
	第2位	若狭 彩香	ソプラノ	大学4年	第2位	菊池 広輔	大学院1年
	第3位	横山 和美	ソプラノ	大学2年	第3位	中川 真耶加	大学1年
2014年度 第13回	第1位	横山 和美	ソプラノ	大学4年	第1位	坂本 文香	大学院1年
	第2位	砂田 愛梨	ソプラノ	大学院2年	第2位	中平 優香	大学2年
	第3位	大田原 瑤	ソプラノ	大学3年	第3位	鶴澤 奏	大学2年
2016年度 第15回	第1位	吉田 一貴	テノール	修士1年	第1位	佐川 和冴	高校3年
	第2位	溝口 茜	ソプラノ	博士1年	第2位	橋本 堅登	大学2年
	第3位	的場 正剛	バリトン	修士1年	第3位	山口 湖苗美	大学2年
2018年度 第17回	第1位	長田 惟子	メゾ・ソプラノ	修士2年	第1位	宮下 まゆき	大学1年
	第2位	石井 和佳奈	ソプラノ	修士2年	第2位	近藤 愛花	大学3年
	第3位	井上 知里	ソプラノ	大学3年	第3位	小倉 茉緒	修士1年
2020年度 第19回	第1位	大高 レナ	ソプラノ	大学4年	第1位	宮里 倫史	修士2年
	第2位	大附 仁美	ソプラノ	修士1年	第2位	厚木 裕香	修士2年
	第3位	老川 鈴唄	ソプラノ	大学1年	第3位	山崎 佑麻	大学3年
2022年度 第21回	第1位	老川 鈴唄	ソプラノ	大学3年	第1位	仁宮 花歌	高校2年
	第2位	矢頭 なみき	ソプラノ	大学3年	第2位	美里 芽玖	大学3年
	第3位	榎本 菜々	ソプラノ	修士2年	第3位	該当者なし	

弦楽器					管打楽器			
年度	順位	氏名	パート	学年	順位	氏名	パート	学年
2003年度 第2回	第1位	中川 直子	ヴァイオリン	大学3年	第1位	岩渕 重紀	トランペット	大学院2年
	第2位	該当者なし			第2位	宮西 純	チューバ	大学3年
	第3位	田代 優奈	ヴァイオリン	大学2年	第3位	今井 僚子	打楽器	大学3年
2005年度 第4回	第1位	芝村 崇	チェロ	大学院科目等履修生1	第1位	垣内 紀子	ファゴット	大学4年
	第2位	堀江 普	ヴァイオリン	高校1年	第2位	勝山 大輔	クラリネット	大学2年
	第3位	三宅 政弘	ヴァイオリン	大学2年	第3位	井上 あいか	クラリネット	大学院1年
2007年度 第6回	第1位	村松 龍	ヴィオラ	大学4年	第1位	岩見 玲奈	マリンバ	大学2年
	第2位	常光 今日子	ヴァイオリン	大学3年	第2位	箱崎 由衣	クラリネット	大学2年
	第3位	鈴木 雄介	チェロ	大学院科目等履修生1	第3位	臼井 紀人	チューバ	大学3年
2009年度 第8回	第1位	堀江 牧生	チェロ	大学1年	第1位	日橋 辰朗	ホルン	大学4年
	第2位	巖築 朋美	ヴァイオリン	大学3年	第2位	氏家 史人	トロンボーン	大学院1年
	第3位	岩田 唯	ヴァイオリン	大学3年	第3位	上野 大介	トロンボーン	大学4年
2011年度 第10回	第1位	巖築 朋美	ヴァイオリン	大学院1年	第1位	吉村 結実	オーボエ	大学4年
	第2位	宮尾 悠	チェロ	大学院科目等履修生1	第2位	大庭 蓉子	オーボエ	大学4年
	第3位	菊池 晶子	ヴァイオリン	大学3年	第3位	本橋 宏昭	ユーフォニアム	大学院科目等履修生1
2013年度 第12回	第1位	金子 さくら	コントラバス	大学院科目等履修生1	第1位	若林 毅	チューバ	大学1年
	第2位	福田 俊一郎	ヴァイオリン	大学1年	第2位	高瀬 真吾	打楽器	大学2年
	第3位	藤元 高輝	クラシックギター	大学3年	第3位	小林 佑太郎	ファゴット	大学4年
2015年度 第14回	第1位	福田 ひろみ	ヴァイオリン	大学4年	第1位	石田 湧次	打楽器	大学2年
	第2位	白井 菜々子	コントラバス	大学4年	第2位	木村 皓一	チューバ	大学4年
	第3位	伊東 翔太	ヴァイオリン	大学1年	第3位	保崎 佑	ファゴット	大学4年
2017年度 第16回	第1位	川口 さくら	ヴィオラ	大学4年	第1位	坂口 璃々己	マリンバ	大学3年
	第2位	福田 麻子	ヴァイオリン	大学3年	第2位	保坂 静侖奈	オーボエ	大学院科目等履修生1
	第3位	和田 泰平	ヴィオラ	大学院科目等履修生1	第3位	關口 茉那	ファゴット	大学3年
2019年度 第18回	第1位	福田 麻子	ヴァイオリン	修士1年	第1位	中野 つかさ	クラリネット	大学4年
	第2位	伊東 香音	ヴァイオリン	大学2年	第2位	山田 真陽	打楽器	大学2年
	第3位	佐々木 大芽	ヴァイオリン	大学院科目等履修生1	第3位	小村 文乃	トロンボーン	大学院科目等履修生2
2021年度 第20回	第1位	遠井 彩花	ヴァイオリン	大学2年	第1位	尾崎 夏子	マリンバ	大学3年
	第2位	景 晨陽	ハーブ	大学4年	第2位	川内 愛	ユーフォニアム	大学4年
	第3位	清沢 健生	コントラバス	修士1年	第3位	田中 友貴	フルート	大学4年
2023年度 第22回	第1位	保科 結太	ヴァイオリン	大学2年	第1位	榛葉 心梨	フルート	大学2年
	第2位	鈴木 海市	チェロ	アーティストディプロマ	第2位	立岩 亜唯	ファゴット	大学3年
	第3位	高田 桜佑	ヴァイオリン	高校1年	第3位	安齋 里玖斗	ファゴット	大学1年

TCM
Tokyo College of Music
東京音楽大学

お問い合わせ：東京音楽大学コンクール運営委員会
事務局 東京音楽大学 演奏課 03-6455-2757（中目黒・代官山キャンパス）